

5.3.2 「大丈夫です」手ぬぐい

梅が丘自治会防災部 2020.12.06

大丈夫手ぬぐいってなに？



発祥は梅が丘

防災安否情報確認の取り組み「大丈夫手ぬぐい」は2011年、梅が丘で生まれました。現在では谷本連合自治会*全域の他、横浜市内の多くの自治会で取り組まれています。

※谷本連合自治会は、藤が丘一丁目、同二丁目A、同二丁目B、千草台、および梅が丘の、5つの自治会からなる地区連合自治会です。

何するの？ なんのため？

震災など広域災害の起こったとき、家に住む人の安全が確認できている場合は、玄関先など、**通りから目に付くところに手ぬぐいを出してください。**

手ぬぐいの掲示により、住民の安否を確認できます。手ぬぐいが出ていない家は、**ケガなどで動けない人がいる**かもしれません。「大丈夫ですか？」声をかけて、助け合いましょう。

災害時 安否確認の為 玄関先に出して下さい

今居る家族は**大丈夫!!**

谷本中学校防災拠点 梅が丘自治会

この手ぬぐいがないんだけど
玄関先に出すのは「大丈夫手ぬぐい」でなくても、普通のタオル、バンダナなどでもOKです。

どうやって手に入れるの？

大丈夫手ぬぐいは、自治会加入時に配布しています。失くしてしまった、新たに欲しい、という場合は班長、またはブロック長に申し出てください。実費(150円)でお分けします。

外出のとき、自宅以外に避難するときも、出して置いてね

訓練で出さないとだめ？

本当の災害が来たとき、**すぐに行動できる**よう、1月と9月の防災訓練では必ず掲示してください。

自治会防災部では掲示した手ぬぐいの集計をもとに、被災時の地域情報の集約訓練をしています。

みんな無事？ケガしている人はいない？の確認

5.4 在宅被災生活者について（課題：現時点未策定）

6 防災拠点の運営（課題：現時点未策定）

6.1 運営体制

6.2 防災拠点での生活ルール

6.2.1 ルールの周知と共有方法

6.2.2 基本のルール

6.2.3 新しいルールを作る

6.2.4 情報共有

6.2.5 生活一般

6.2.6 炊き出しと食事

- 6.2.7 ごみ
 - 6.2.8 トイレ
 - 6.2.9 衛生と健康管理
 - 6.2.10 救援物資
 - 6.2.11 防犯とパトロール
 - 6.2.12 高齢者と肢体不自由者
 - 6.2.13 子どもと女性
 - 6.2.14 記録（防災拠点日誌）
 - 6.3 要介護者
 - 6.3.1 被災による傷病者
 - 6.3.2 被災以前からの要介護者
 - ◇ 支えあいカードや見守りカードに基づき、一人暮らしの要介護者に連絡をとり、支援対策をとる。
 - 6.4 帰宅困難者
 - 6.4.1 拠点への収容の想定
 - 6.4.2 受け入れの方針と手続き
 - 6.5 ボランティア
 - 6.5.1 地域住民、被災者によるボランティア
 - 6.5.2 中学生
 - 6.5.3 外部地域からのボランティアの受け入れ
 - 6.6 ペットについて
- 7 在宅者とのコミュニケーション**（課題：現時点未策定）
- 7.1 パトロール
 - 7.2 拠点情報の提供
 - 7.3 支援物資の分配
- 8 谷本中拠点の閉鎖**（課題：現時点未策定）
- 8.1 閉鎖の判断
 - 8.2 閉鎖の手続き